

### 安来市で視察研修 スマート農業学ぶ

しまね農委会女性協

【島根】しまね農業委員会女性協議会(佐々木京子会長、会員23人)は、3月8日に安来市の(農)ファーム宇賀荘(岡田一夫組合長、組合員数247、水稲115畝、大豆72畝、ソバ1畝)

の視察研修会を行った。岡田組合長は県農業会議会長で安来市農業委員会会長、新田里恵副組合長は安来市農業委員を務めている。

当日は会員など15人が出



新田委員から話を聞く参加者

席。岡田組合長から会社概要に加えて、スマート農業導入について「コンバインなどの農業機械に情報支援機能があり、作業すると自動的に収量と食味のデータがパソコンへ記録される。データは圃場ごとに毎年度グラフ化して翌年の作業計画に活かし、収量などの向上や労力の軽減につなげている」との説明があった。

会員からは「機械の価格やコスト、常時作業の人数、オペレーターの状況、操作の難度」などの質問や「新田委員のリーダーシップ、オペレーターとして大型機械を乗りこなす姿に感動した」「大規模経営だが作物を米、大豆にしほり、スマート農業を活用した効率的な経営は刺激になった」などの声があった。

さらに女性農業者の参画や、女性委員の地域活動について意見交換し、佐々木会長は「広大な農地を守る農業の姿を知ることができた。貴重な経験を活かし、島根の農業・農地利用の実情を知る活動を続けたい」と語る。